

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和7年度で40回目。

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和7年度）

委員長 野澤 康 工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授

委員 小浦 久子 奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室 客員研究員

委員 斎藤 俊幸 イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー

委員 坂元 英俊 一般社団法人 地域観光研究所 代表理事

委員 真田 純子 東京科学大学 環境・社会理工学院 教授

委員 西村 浩 株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役

(敬称略)

令和7年度 手づくり郷土賞【一般部門】受賞案件概要

参考資料2

案件名

未来へつなぐ 萬世大路～総合学習と観光創造～（山形県・米沢市）



▲明治時代に整備された初代栗子隧道



▲萬歳の松公園にある「萬歳の松」

＜活動内容＞

萬世大路という歴史的遺産を未来に伝えるため、散策路の保全活動(草刈・倒木処理等)や樹木への名札の取り付け、散策ガイドマップの配布などを行い自然観察しやすい環境を整えている。また、散策ガイド活動では、観光客や地元小学校校外学習、市民や各種団体に対して萬世大路の歴史的価値を伝えるとともに、豊かな自然を体感する場を提供しており、学習・交流活動では、外部講師を招いた勉強会や福島県側の団体と交流を通じて知識を深めている。さらに、道の駅米沢の萬世大路紹介コーナーにデジタルサイネージやジオラマ、パンフレット等を設置し情報発信に取り組んでいる。

＜活動主体＞

歴史の道土木遺産萬世大路保存会

＜対象となる社会資本＞

萬世大路

※管理者:山形県